

# 移動手段見直しませんか 公共交通を生活に取り入れて



皆さんは普段どのようにして出掛けますか。電車やバスに乗る人もいれば、最近では自転車に乗って出掛ける人も増加しています。しかし、都道府県別の1人当たりの自家用車保有台数は群馬県が全国トップ。県のパーソントリップ調査では、市民の移動手段の75％は自動車であるのに対して、公共交通はわずか3・5割であることが分かっています。

本市では自動車中心のライフスタイルが深く根付いていますが、誰にでも年を取って運転できなくなる時は必ずやってきます。そこで初めて電車やバスに乗ろうとしても、乗り方が分からずに困ってしまうかもしれません。

バスや電車を使った経験は、いざというときにも必ず役に立つものです。いつもの出掛けを、いつもと違う移動手段で。新鮮な気持ちで利用してみませんか。

☎ 027・898・6238

公共交通政策課

## 電車やバスを使って健康づくり

自動車に乗ってばかりでは運動不足になりがちですが、公共交通を利用すると歩く機会が増え、運動不足の解消になります。本市には電車やバスに自転車を持ち込めるサービスがあり、お出掛けついでに軽い運動もできます。また、運動することでうつ病や認知症、心疾患、メタボリックシンドロームなどの予防も期待できます。

公共交通が皆さんの健康づくりを支えてくれますよ。



交通政策課 須田 直紀

### 快適な移動手段を目指して

本市では昨年度、暮らしやすく持続可能でコンパクトなまちづくりと、公共交通を中心とした交通ネットワークの構築を目指し、地域公共交通網形成計画を策定。バスの利便性向上を中心とした公共交通軸の強化や公共交通によるまちなか回遊性の向上、誰もが快適に移動できる公共交通ネットワークの構築を目標に掲げました。本年度はこれらを達成するための具体的施策を検討しています。他にも、自動運転バス社会実験に利用する場所の提供やNTTドコモとの連携協定による研究など、次世代の移動手段の検討も進めています。



### ● NTTドコモと連携協定締結 地域交通網の研究を始めます

NTTドコモと5月に締結した連携協定には、AIを活用した地域交通網の最適化に向けて連携することなどが盛り込まれています。今後、デマンドバスやタクシーなどに同社の技術を活用して、公共交通がより効率的で便利にできないか研究。自動車を運転できない人などでも、安心して移動できるまちを目指します。



### ● 自動運転機能付きバスが 運行を始めます

群馬大と連携して取り組む、路線バス自動運転の実証実験。6月1日から、自動運転機能を搭載したバスがJR前橋駅と上毛電鉄中央前橋駅を結ぶシャトルバス路線を隔日運行しています。当面は手動運転で同区間を走行。運賃100円で誰でも乗車できます。11月から運転手が安全確認をし、ハンドルやブレーキなどの操作を自動化したレベル2の自動運転走行が実施できるよう、研究しています。

